

## 2022 年度実施概要

## 教育委員会名

洋野町教育委員会

## 採択活動名

海洋教育「ひろの学」

## 取り組みの概要

## 【推進協議会等の実施状況】

海洋教育推進委員会を、全3回<①5月12日(木)、②10月11日(火)、③2月27日(月)>開催した。第1回海洋教育推進委員会では、海洋教育ひろの学を通して育む資質・能力等について確認した上で、今年度の海洋教育推進の方向性について協議を行った。第2回海洋教育推進委員会では、「海洋教育こどもサミット in 気仙沼」に向けた取組について確認した。またグループ協議を通して沿岸部と内陸部の学校の取組を共有した。第3回は今年度の取組の反省と来年度の事業や取組の今後の見通しについて共有し、中学校区の小中学校でグループ協議を行い、小、中の学びの接続について話し合う機会をもった。

## 【特例校の申請状況】

本町では、平成27年度から中野小学校において教育課程特例校の指定を受け「海洋科」の実践を行ってきた。令和3年度までに中野中学区、種市中学校区の小・中学校の特例の指定を受けた、同年度に大野中学校でも申請を進め、令和4年度からはすべての中学校区の小・中学校（本年度で統合となる向田小学校を除く）が教育課程特例校の指定を受け、町全体として海洋教育を推進することとなった。

## 【公開研究会・授業研究会・教員研修会・発表会等の実施状況】

## ○授業研究会

洋野町立中野小学校、中野中学校、では、校内研究会の一環として海洋教育の授業研究に取り組んでいる。各校において授業研究会を実施し、県北教育事務所指導主事を招聘して指導助言をいただいた。各学校の特色を生かしながら、海に関する学習活動を通して主体的に探究活動に取り組む子供の姿からたくさん学びを得ることができた。

## ○町教研独自研における授業研究会

洋野町では町内全小中学校の教員の研修の機会を保障するため、洋野町教育課程研究会を設置している。その中の独自研には、海洋教育部門があり、町内全小中学校から希望する教員が所属している。今年度は、内陸部の大野中学校に授業提供をしていただき、授業研究会や情報交換を行った。

## 【外部機関との連携】

## ○海洋教育関係機関との連携

第1回海洋教育推進委員会は一部を気仙沼市、只見町とオンラインでの合同開催とし、東京大学大学院教育研究科附属海洋教育センター長の田中智志氏の講話を頂いた。

7月に開催した、洋野町海洋教育事業「海はともだち」では、JAMSTEC 担当者に講師を依頼し、また、岩手県立種市高等学校には、磯遊びの補助や実習船への乗船体験等でご協力をいただく予定であった。

たが、感染症拡大を受け事業そのものを中止とした。この事業は次年度も継続することとし、各機関の協力を得ながら進めたい。

**【地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況】**

各学校において海洋教育学習発表会等の機会を設定し、海洋教育ひろの学で学んだ成果の発表を行い、多くの保護者に参観いただいた。

**【その他教育委員会としての取組】**

昨年度まで副読本編集委員会で編集を進めてきた副読本が完成し、各学校へ配布した。学校では体験学習のオリエンテーションやまとめの際の資料として活用されている他、それぞれの学校に身近でない地域のことも知るきっかけとなるものとして活用が進められている。

各校の活用について集約しながら、効果的な活用についてさらなるブラッシュアップが必要である。あわせて、海洋教育で育てたい資質・能力についても整理し、子どもの力がどう育ったかを評価しながらカリキュラムマネジメントを進めていく求められる。

活動参加校名

1. 洋野町立種市小学校
2. 洋野町立角浜小学校
3. 洋野町立宿戸小学校
4. 洋野町立中野小学校
5. 洋野町立大野小学校
6. 洋野町立林郷小学校
7. 洋野町立帯島小学校
8. 洋野町立向田小学校
9. 洋野町立種市中学校
10. 洋野町立中野中学校
11. 洋野町立大野中学校